



CONCERT GLOCKENSPIEL

YG-2500

取扱説明書

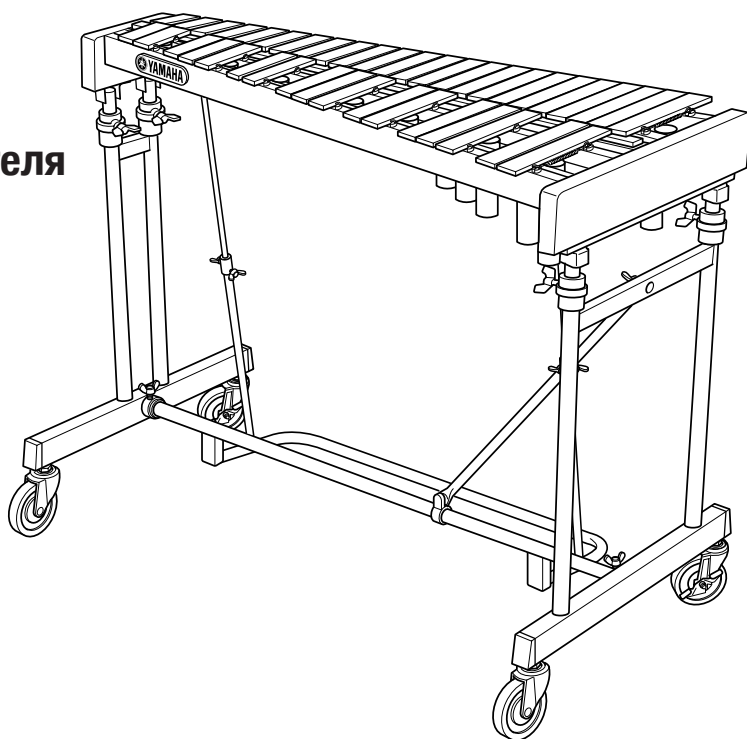
Owner's Manual

Mode d'emploi

Руководство пользователя

使用手册

사용설명서



組み立ての前に、P.2「安全上のご注意」およびP.4「ガススプリング取り扱いに関する注意事項」を必ずお読みください。

Before starting assembly, be sure to read the following sections; “Safety Precautions” page 13, “To get the most out of your instrument” page 14 and “Precautions for handling gas spring” page 15.

Avant de commencer le montage, nous vous conseillons de lire attentivement les paragraphes suivants : “Consignes de sécurité” page 24, “Pour tirer le meilleur parti de votre instrument” page 25 et “Précautions de manipulation du ressort à gaz” page 26.

Перед началом сборки обязательно прочтите следующие разделы: «Меры безопасности» стр.35, «Максимально эффективное использование инструмента» стр.36 и «Предосторожности при обращении с пневматической пружиной» стр.37.

开始组装之前，务请阅读以下部分：第 46 页“安全注意事项”、第 47 页“最有效地使用乐器”和第 48 页“气弹簧操作注意事项”。

조립을 시작하기 전에 57 페이지의 “안전 주의사항”, 58 페이지의 “악기의 최적 성능을 내려면” 및 59 페이지의 “가스 스프링 취급상의 주의사항” 을 반드시 읽어 주십시오 .

日本語

English

Français

Русский

中文

한국어

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、




お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

設置



楽器を移動するとき以外は、必ずキャスターのストッパーを左右2ヶ所ともかけてください。

楽器が移動したり倒れたりして、けがの原因となります。



楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

取り扱い



キャスターや高さ調節部のすき間などの可動部分には、絶対に手や足を入れないでください。
はさまれて大けがをすることがあります。



楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。

楽器が倒れて、大けがをすることがあります。



楽器のまわりで遊ばないでください。

身体をぶつけてけがをすることがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ばないように注意してください。



地震による強い揺れにより、楽器が移動したり転倒するおそれがあります。

地震の際は楽器に近づかないようにしてください。

移動



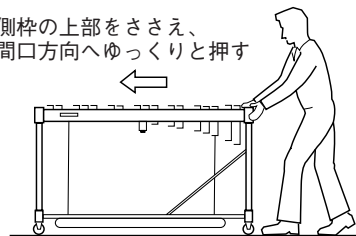
キャスターを利用した移動は、滑らかな平坦面でのみ行なってください。

高さ調整を一番下まで下げて側枠の上部をささえ、間口の方向へゆっくりと押してください。

キャスターを利用して移動する時には

- 傾いた所や凸凹のある道、じゃり道は避けてください。
楽器が倒れたり暴走したりして危険です。
- 走らないでください。楽器が止まらなくなって、壁にぶつかるなどして大けがをすることがあります。
- 持ち上げて運ぶ際は、必ず2人以上で、側枠を両手で持って運んでください。長枠を持つと外れて落下転倒の危険があります。側枠以外は絶対に持って運ばないでください。本体質量は約36kgです。

側枠の上部をささえ、
間口方向へゆっくりと押す



楽器を組み立てた状態で、階段の登り降りをして運ばないでください。

部品が落下したり、バランスを崩して倒れたりして危険です。必ず分解した状態で運んでください。

注意

設置



次の場所では使用しないでください。梱包されたままであっても同様です。

故障の原因となります。

- ・ 窓際などの直射日光の当たる場所や、日中の車内、暖房機具のそばなど、極端に温度が高い場所
- ・ 温度の特に低い場所
- ・ 湿気やホコリの多い場所
- ・ 振動の多い場所
- ・ 雨水のかかる場所

取り扱い



楽器の上にものをのせないでください。

音板や枠を傷める原因となります。



頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。

移動前後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。



マレットは演奏目的以外には使用しないでください。

けがや事故の原因となります。お子様が人の身体をたたくなど、危険な行為をしないように注意してください。



グロッケン用マレットを、ビブラフォンや鉄琴などでは使用しないでください。

へこみやキズができ、音律が狂う原因となります。



組み立て時、手を挟まないよう、注意してください。

特に枠集成と脚部のセット時には、2人で確認しながら作業してください。



組立ての手順は、必ず本取扱説明書 7～10 ページ「組立手順」の通りに行なってください。

誤った手順で組み立てると、けがの原因となったり、機能が十分に働かなかったり、雑音発生の原因になったりします。



脚部のネジは、位置が決まったらしっかりと締め付けて固定してください。

ゆるんだ状態で使用すると演奏中に楽器がずれたり、雑音が出たり、トラブルの原因になります。またこれらのネジは時々締め直してお使いください。



音板のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。シンナーやベンジン、濡れぞうきんなどは絶対に使わないでください。

楽器を傷める原因となります。

移動



楽器を分解して移動する際は、グロッケンシュピール本体から音板・共鳴パイプを外し、柔らかい毛布等で包んで移動してください。

はだかのまま移動すると、楽器が傷つく原因となります。



キャスターを利用して平行移動する際には、高さ調整を一番下まで下げてください。

楽器の重心が低くなり、安定して移動することができます。



移動の際は、ていねいに取り扱い、決して落としたり、投げたりしないでください。

楽器は衝撃に敏感ですので、楽器が傷つく原因となります。

ガススプリング取り扱いに関する注意事項

ガススプリングの取り扱いにおいては、以下の注意事項を遵守くださいますようお願いいたします。

1. 取り扱い上の注意事項



注意

- ⊘ 本ガススプリングは、摺動部への注油はしないでください。
注油するとシールの耐久性をなくし油漏れの原因となります。
- ⊘ 衝撃を加えることは絶対に避けてください。
油漏れ、作動不良、破損の原因になります。
- ⊘ 分解することは絶対に避けてください。
高圧ガスが封入されていますので、分解すると非常に危険です。
- ⊘ 曲げ方向の剛性が小さいので、曲げないでください。
取付の精度によっては曲げ荷重の負担によりロッドが曲がり、作動不良の原因となります。
- ⊘ ぶつけたりしないでください。
ピストンロッド及びシリンダーに打痕を付けますと、シールの寿命を縮めたり、作動不良の原因になります。
- ⊘ 周囲の気温があまり高いまたは低い場所での使用はご注意ください。
－ 20℃～ 50℃の範囲内でご使用ください。
- ⊘ 雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所での使用は避けてください。
作動不良の原因になります。
- ⊘ 側枠を無理に持ち上げ、ガススプリングを脚部から引き抜かないでください。
作動不良、破損の原因になります。

- 引張荷重がかかるとガススプリングは破損しますので、高い引張荷重がかからない様に使用してください。
- 故障が起きた場合は使用を中止し、お買い上げの楽器店へご連絡ください。

2. 廃却の方法



危険

廃却する際は、次の注意を守ってください。

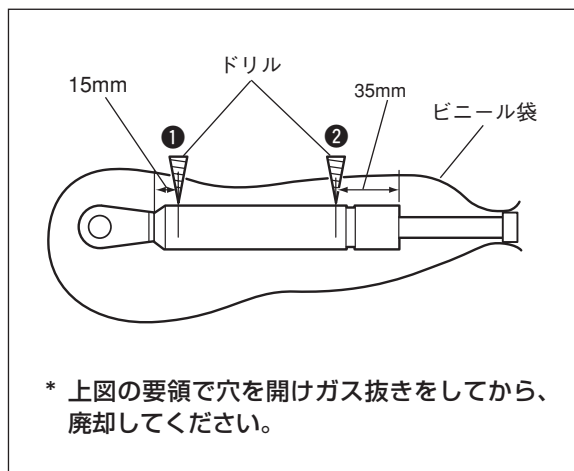
この製品は、窒素ガスが高圧で封入してあるため、ガスを抜かずに処理すると、爆発によりけがをすることがあります。

【禁止事項】

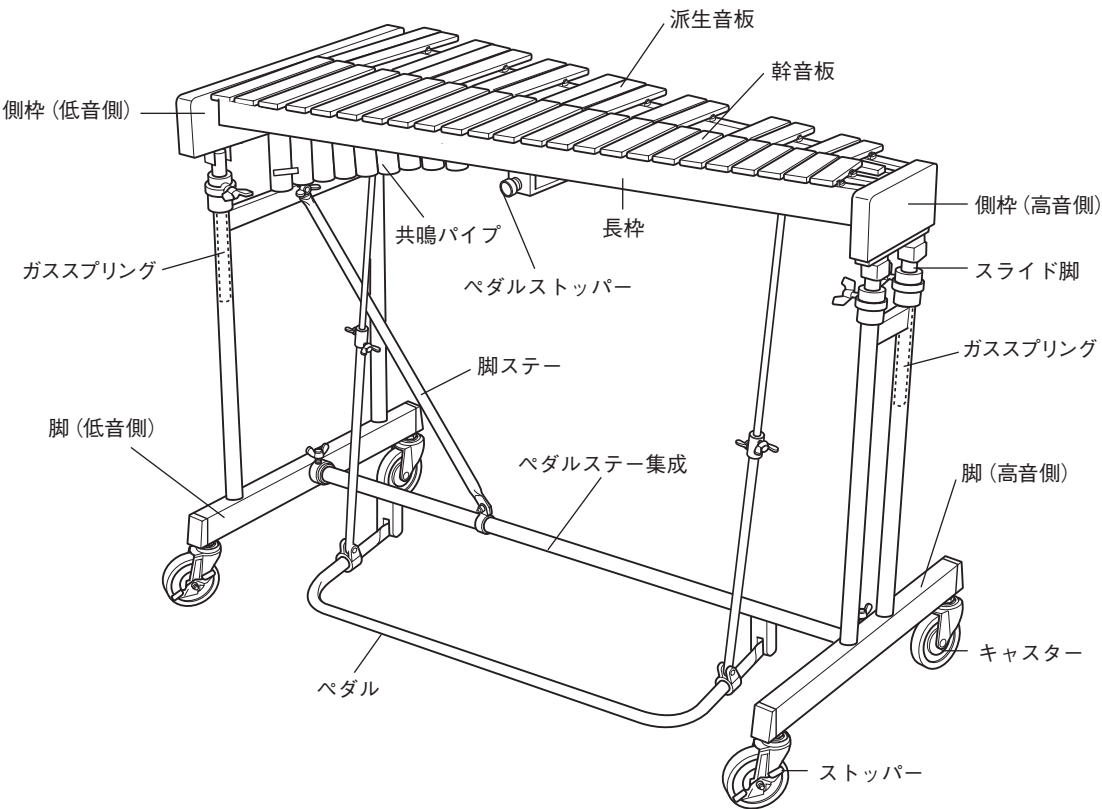
- ⊘ 押しつぶさない
- ⊘ 切断しない
- ⊘ 右図 ①、② 部以外の場所に穴をあけない
- ⊘ 火に入れない

【廃却手順】

1. ビニール袋をかぶせその上から 2 ～ 3mm のドリルで
① の穴をあけ、ガス・油を抜いたあと ② の穴をあけて
ください。(必ず ①、② の順を守ってください)
2. ビニール袋を使用しない場合は、油や切粉が飛び出します
ので充分注意してください。(この場合はメガネをか
けて作業してください)

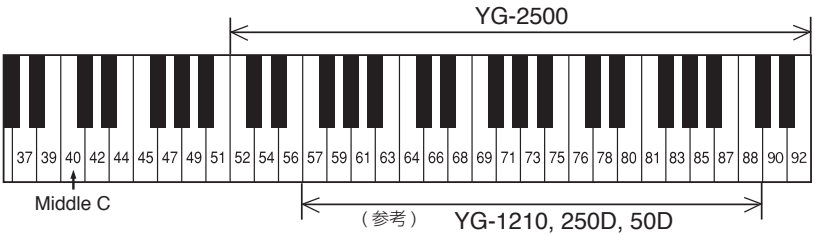


各部の名称



仕様

	YG-2500
音域	C52 ～ E92 (3-1/2 オクターブ)
音板材・支持方法	硬質スチール音板・横孔吊紐方式
音板幅・厚さ	32.5mm・9mm
本体寸法 (間口 × 奥行 × 高さ)	106.2cm×56.4cm×85 ～ 105cm
本体質量	36kg
付属品	なし



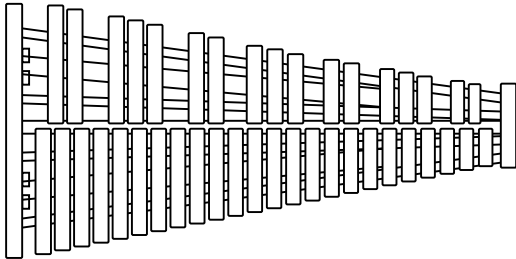
※仕様および外観は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

部品の確認

YG-2500 の梱包箱の中には、以下の部品が入っています。
組み立ての前に、すべての部品が揃っていることを確認してください。

※ 部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

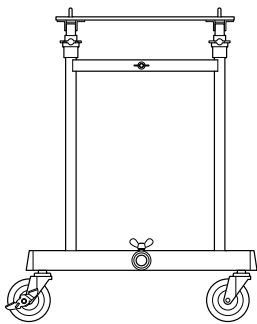
① グロッケンシュピール本体（杵集成・音板・共鳴パイプのユニットです。）



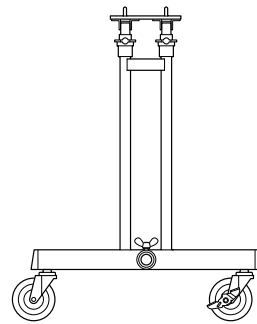
⚠ 注意

梱包箱内のグロッケンシュピール本体は、9 ページ手順 2「グロッケンシュピール本体を脚部に取り付けます。」まで、取り出さないでください。共鳴パイプがあらかじめ取り付けられているため、床に置いたときに不安定になり大変危険な上に、パイプや杵などを傷める原因となります。

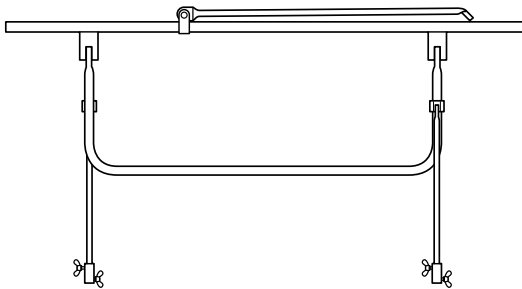
② 脚（低音側）



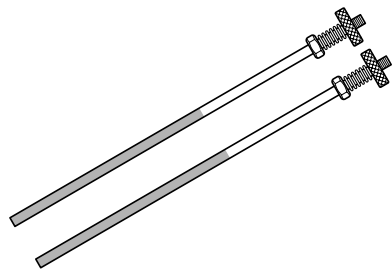
③ 脚（高音側）



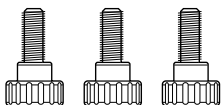
④ ペダルステア集成



⑤ センターロッド：2 本



⑥ 本体固定用ノブ：3 個



⑦ 取扱説明書（本書）：1 冊

⑧ 保証書

組立手順

安全のために、組み立ては2人以上で十分なスペースのある場所で行ってください。
楽器を傷つけないように、じゅうたんや柔らかい布などを敷いた平らな場所で作業されることをお勧めします。

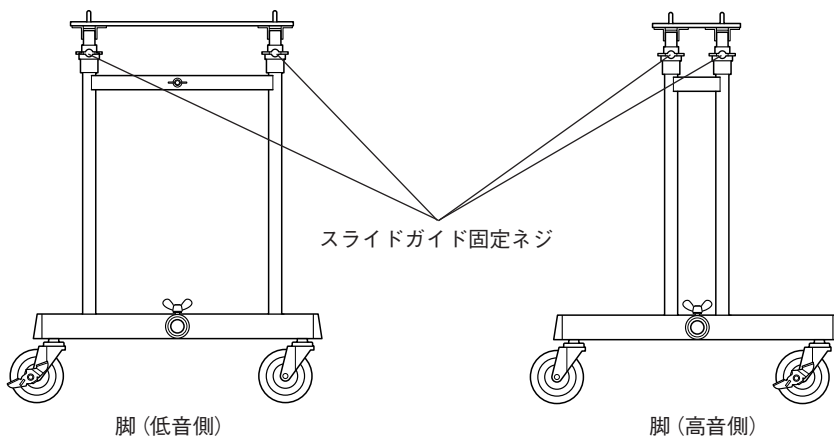
1 ペダルステー集成と両脚（低音側・高音側）をつなぎます。

※ 両脚（低音側・高音側）ともに、スライドガイド固定ネジがしっかりと締まっていることを確認してから、作業を行ってください。

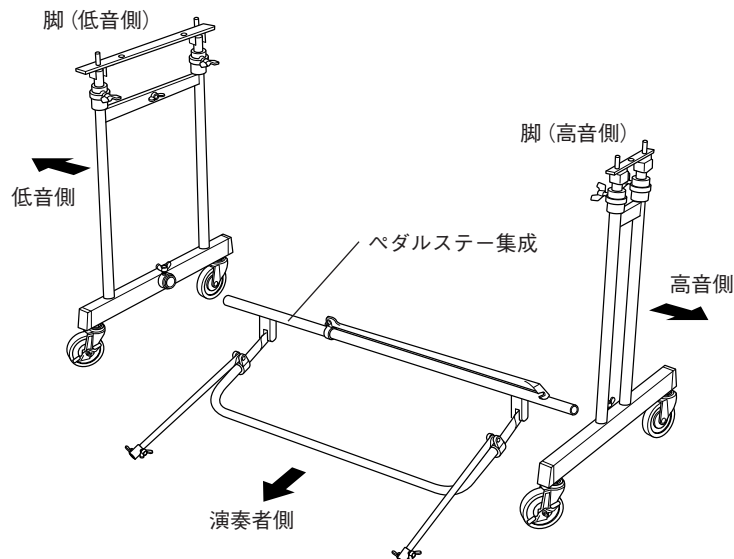


注意

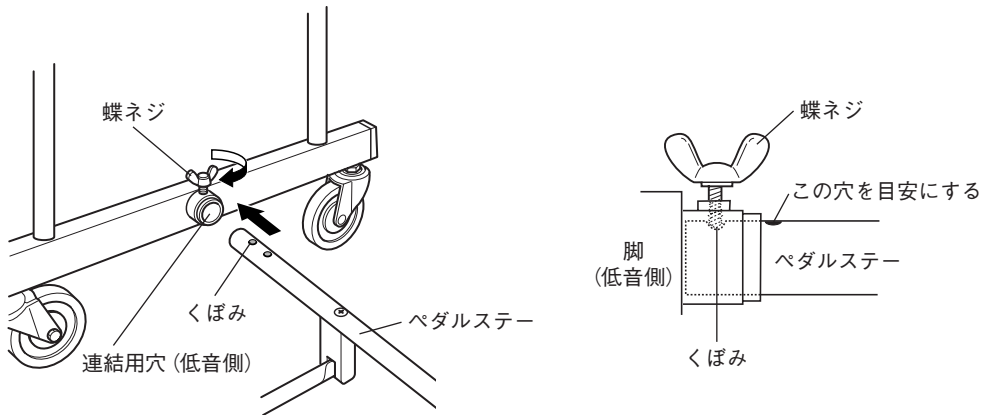
この状態でスライドガイド固定ネジを緩めないでください。
スライド脚が突然上昇し大変危険です。



1-1 組み立てたときに下図の位置関係になるよう、両脚(低音側・高音側)、ペダルステー集成を配置します。

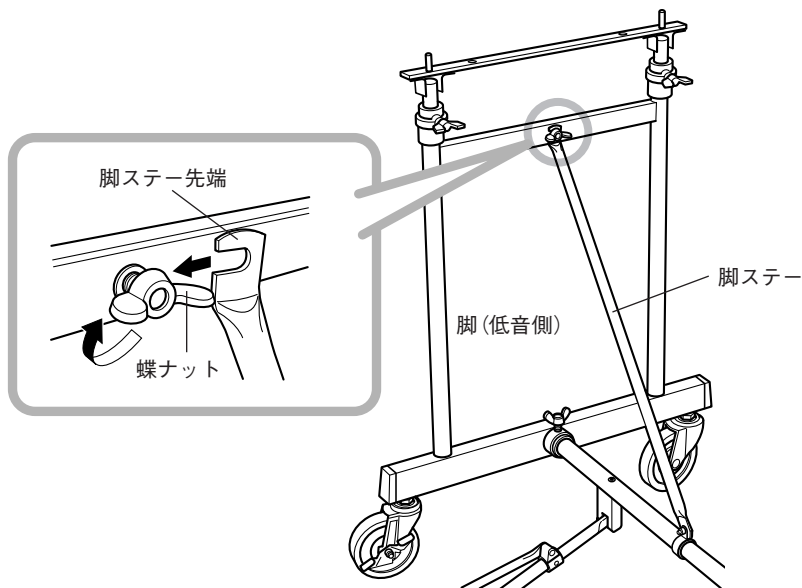


- 1-2** 脚（低音側）の連結用穴にペダルステーのくぼみ部分を上にして、ペダルステーが止まるまで差し込み（この位置で蝶ネジの先端が、ステーのくぼみ部分に来ます）、蝶ネジを締めて固定します。
 続けて高音側も同様に、ペダルステー集成を取り付けます。
 ※ くぼみの近くの穴を目安にして、ペダルステーを差し込んでください。



イラストは、低音側への取り付けです。

- 1-3** 左右の脚が垂直に立っていることを確認し、ペダルステー集成に付いている脚ステーの先端を脚（低音側）中央部の蝶ナットに挟み込み、蝶ナットを締めて固定します。
 ※ ステーの先端は、しっかりと差し込んでください。



2 グロッケンシュピール本体を脚部に取り付けます。



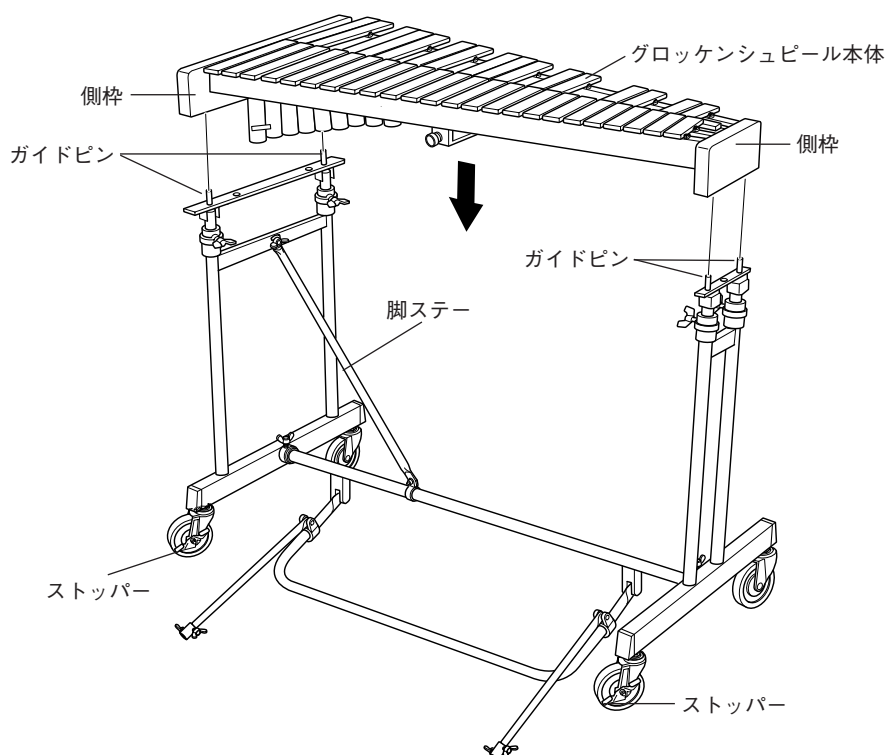
注意

グロッケンシュピール本体は重量があるため、取り付けは必ず 2 人で行なってください。
また、グロッケンシュピール本体と脚部の間に、手を挟まないようご注意ください。

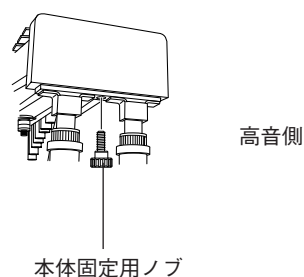
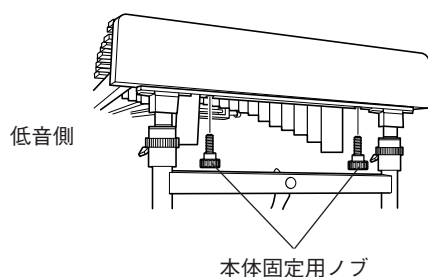
2-1 取り付け時に脚が動かないよう、キャスターのストッパーを左右ともにかけます。

2-2 側枠底面の穴（左右 2 個ずつ）と、脚上面のガイドピンを位置を合わせ、グロッケンシュピール本体を脚部に載せます。

※ ガイドピンが側枠底面の穴にうまく入らないときは、脚ステーを一旦外してから作業を行なってください。



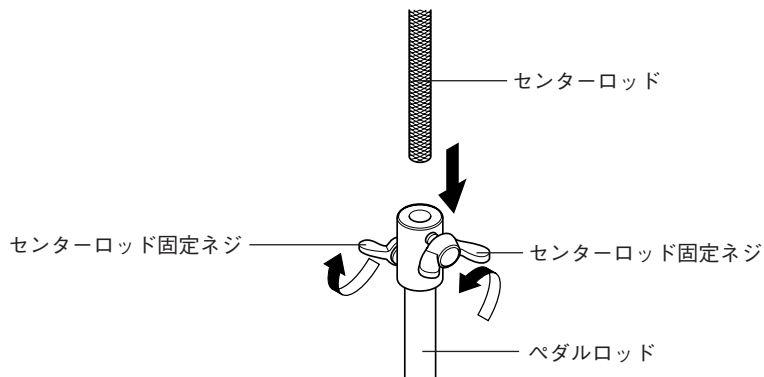
2-3 本体固定用ノブ（同梱品）で、脚に左右の側枠（低音側 2 ヶ所、高音側 1 ヶ所）を固定します。



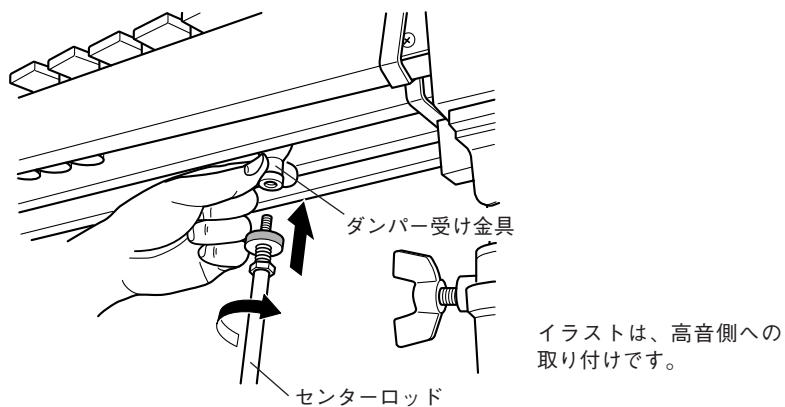
2-4 センターロッドを、ダンパー受け金具と接続します。

※ この作業は、低音側・高音側ともに行ないます。

2-4-1 センターロッド固定ネジ (2ヶ所) を緩め、センターロッドをペダルロッドに差し込みます。



2-4-2 ダンパー受け金具を手で支え、そこへセンターロッドの先端を差し込み、ネジ部の半分くらいまでねじ込みます。



2-4-3 センターロッドのロックナットを締めて固定します。

※ ロックナットが緩んでいたり、ロックナットを上方に上げ過ぎてナット緩み止めバネに遊びができると、ノイズの原因になりますので、注意して調整してください。



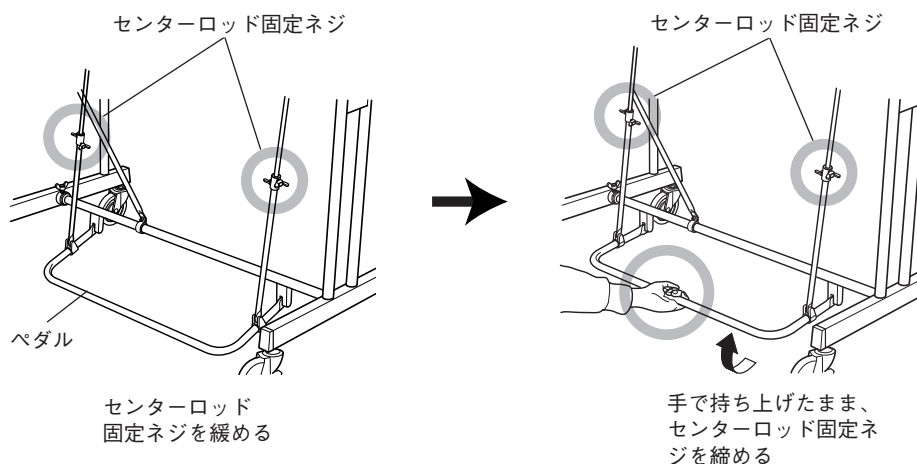
3 各部の調整

3-1 ペダル踏みしろの調整

左右のセンターロッド固定ネジ（各2ヶ所）を緩め、ペダルを持ち上げてペダルの踏みしろ（ペダル底面と床面との間隔）を調整します。

高さが決まったら、ペダルを持ち上げたまま左右のセンターロッド固定ネジ（各2ヶ所）を締め付けます。

※ ペダルの底面と床面との間隔は、2～3cmが適当です。



3-2 ダンパーの効き具合の調整

3-2-1 ダンパー調整ナット2（薄いナット）を左へ回して、ダンパー調整ナット1（厚いナット）のロックを外します。

3-2-2 ダンパー調整ナット1を回して、ダンパーの効き（ダンパーが音板を押す強さ）を調整します。

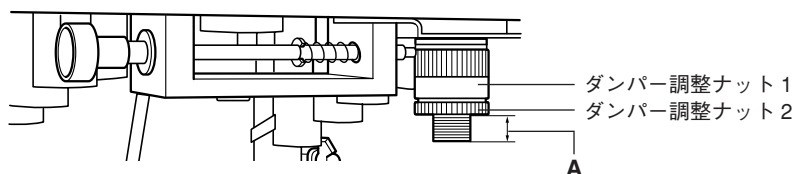
ダンパー調整ナット1を左へ回す ダンパーの効きが強くなる。

ダンパー調整ナット1を右へ回す ダンパーの効きが弱くなる。

3-2-3 ダンパーの調整が終わったら、ダンパー調整ナット2を締めてダンパー調整ナット1をロックします。

※ ダンパー調整ナット2の締め付けが弱いと、ダンパー調整ナットが脱落したり、ノイズの原因になります。

※ ダンパーの効きを弱くして、ペダルを踏まなくてもハーフダンパー（ダンパーの効きが弱く、音が完全には止まらない状態）にすることもできます。



※ Aの寸法を10mm以下になるまで調整すると、ダンパーストッパーが機能なくなります。

Aの寸法は、10mm以上でご使用ください。

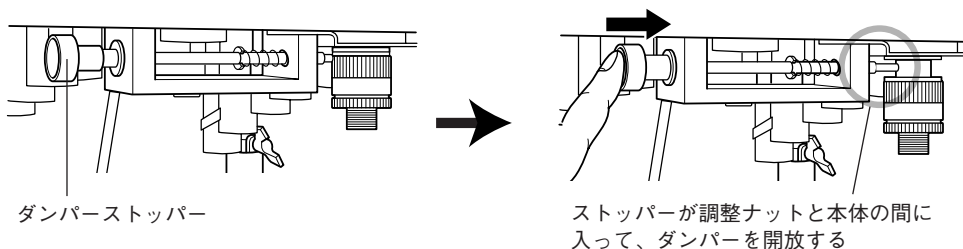
3-3 ダンパーストッパーの使用法

奏者側の長杵中央部に付いているダンパーストッパーを使用すると、ペダルを踏まなくてもダンパーを開放（音が止まらない状態）することができます。

ペダルを踏んだ状態でストッパーノブを押し、そのままペダルから足を離すと、ペダルが開放のままロックされます。

ペダルをもう一度踏むと、自動的にストッパーが外れ、元の状態に戻ります。

※ 3-1「ペダル踏みしろの調整」で、踏みしろの調整が少なすぎると、ロックが掛からない場合があります。ペダル底面と床面との間隔は、2cm 以上に設定してください。



4 音板高さの調整



注意

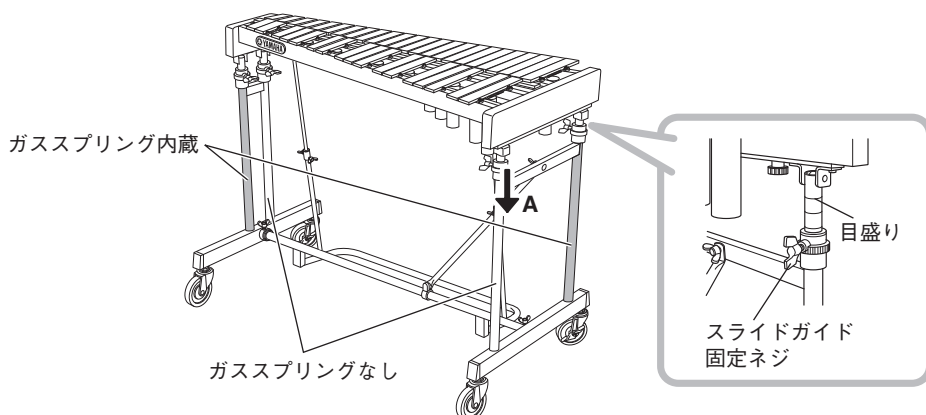
スライドガイド固定ネジを緩めるときは、必ず側枠を上から押さえてください。側枠が突然上昇して大変危険です。

低音側・高音側ともに本体の側枠を手で支えながら、スライドガイド固定ネジを緩めます。希望する高さに合わせたら、スライドガイド固定ネジを締めて固定します。スライド脚に刻まれている線を目安にして、音板が床面と平行になるように調整してください。

本製品では、低音側と高音側の脚パイプ各 1 本ずつにガススプリングが配置されています。低音側のスライドガイド固定ネジを緩めた際、ガススプリングが入っていない脚パイプ側の側板が多少下がります（図 A）が、これは故障ではありません。

高さ調整の際、ガススプリングが入っていない側を少し持ち上げてください。

すべてが組み上がったら、各部のネジがしっかりと締まっていることを確認してください。



グロッケンシュピール本体両側に付いている茶色いフェルトと、低音側 2 ヶ所に差し込んである段ボールは、共鳴パイプ固定用の梱包材です。組み立てが完了したら、引き抜いてください。

